

ライフサポートファイルについて

ライフサポートファイルとは

お子さんの生活の様子や、見守っている方々からの情報を、保護者の方が記録したり、書類を挟みこんだりしていきます。お子さんのことで面談するとき、ライフサポートファイルを確認することで、保護者からの説明だけでなく、客観的な記録も参考になるほか、教育・福祉を超えて支援方針を共有することでより良い支援に繋がります。

ライフサポートファイルの目的と作成するメリット



ライフステージをつないでいきます



図：鎌ヶ谷市HPより

目的

支援が必要な子どもが抜けなく、切れ目なく支援を受けられるためにライフサポートファイルを活用し、保護者が持参する、支援者が活用するのが当たり前となるような支援体制を構築します。

作成するメリット

【本人・家族にとって】

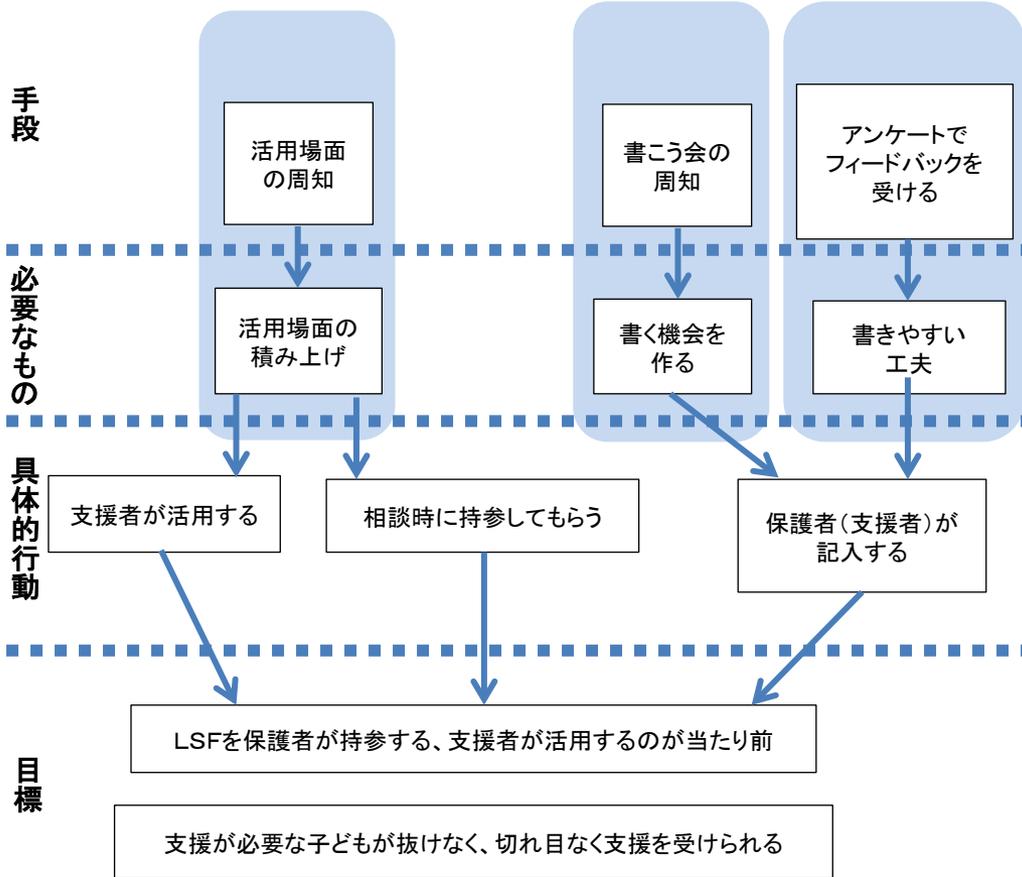
- ◆保護者の聞き取りの負担軽減
支援機関が変わるたびに繰り返し成育歴等話すこととなる負担を軽減できます。将来的には、療育手帳や障害年金を申請する際、振り返るときの資料にもなります。
- ◆保護者の急な入院や親亡き後の心配の軽減
保護者の代わりに本人の情報を伝える情報ツールがあることで、将来の不安を少しでも軽減することができます。

【支援者にとって】

- ◆支援の連携→一貫した支援
支援者間で教育・福祉などの立場や視点の違いを超えて支援の方向性を共有する助けになります。
- ◆本人のイメージがつかめる
記入されたシート、綴じ込まれた資料から本人の全体像把握に役立ちます。

ライフサポートファイルについて

システム構築に向けて



配布対象者

支援が必要な障害児(0~18歳未満)、障害を持つ児童、発達の気になる児童(障害の有無に関わらず)

配布時期

平成30年10月1日から開始。配布冊数 200冊

配布方法

窓口(障害福祉課、教育研究所、こども発達センター、基幹相談支援センターCoCo)での配布、郵送

周知方法

<利用者向け>

広報まつど、HP、SNSへの掲載、チラシ配布等

<支援者向け>

サンプル、Q&A等を障害児通所支援事業所、小中高校、市内病院へ配布

配布後のサポート体制(活用・定着のための仕組みづくり)

配布半年後および1年後に利用者向けのアンケート調査を実施し、活用方法や定着状況を検証する。また、支援者による書くための講座の案内チラシの送付等を行い、ライフサポートファイルを保護者が持参し、支援者が活用する状態の定着を目指す。